

会員数 59名 出席者48名・欠席者11名・免除会員5名  
欠席者 天野・飯間・麻田・和泉享・曾川・橘・岸上・松山・中野昌・会員

前々回出席率 85.96%(8/6)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎  
幹 事 陶国 栄輝  
会報委員長 福田 洋子

## お知らせ

- 9月のプログラム  
3 (No.1)-クラブフォーラム  
10 (No.2)-夜間例会  
17 (No.3)-ガバナー補佐公式訪問  
24 (No.4)-クラブフォーラム

- 他RC例会変更  
丸亀東 8/11 休会  
坂出東 8/12 休会  
8/26 夜間例会  
坂出 8/11 休会  
善通寺 8/12 休会  
8/19→8/11 夜間例会

- ニコニコBOX;  
祝誕生月  
伊藤君  
よいことがありました  
秋山憲夫君  
コロナクレーンが完成して  
山田君

<ニコニコ会計累積/¥59,000>

- がんばるBOX;  
早退します  
中川君 谷本君  
先日の職場例会、細谷委員長  
お疲れ様でした  
岡田君  
会員卓話を終えて  
陶國君 尾崎君

<がんばる会計累積/¥110,000>

例  
会  
場  
・  
事  
務  
局丸  
亀  
市  
塩  
飽  
町  
50  
|  
3  
丸  
亀  
プ  
ラ  
ザ  
ビ  
ル  
5  
F

## ■会長挨拶

先日の職場例会はお疲れさまでした。本当は、美術館の裏側を案内してもらおう予定でしたが、コロナの関係で団体で移動することが出来なくなり、ホールでの説明及び美術館の鑑賞となりました。細谷委員長には、色々とお手数をおかけいたしました。ありがとうございました、そしてお疲れさまでした。

さて、新型コロナを想定した「新しい生活様式」ということで皆さんの生活も変わったことがあるかと思えます。僕に関して言いますと、なるべくステイホームということで、家にいる時間が多くなりました。ですので、家で何か？ということで、レンタル漫画がマイブームとなりました。マイブームの漫画は、皆さんも御存知かと思いますが、「課長 島耕作」です。島耕作は、初芝電器という会社に入のですが、実際の想定としては松下電器です。実際の松下電器に起こることを、例えば三洋電機との合併など事実より早く書いていたりしています。他にも、例えば企業としての農業経営、再生可能エネルギー、中国の台頭、素粒子の研究など、なかなか濃い内容になっています。もちろん青年マンガですから、なぜか島耕作がもてまくるお色気もあります。しかもちゃんと、その年齢によって出てくる女性も、年相応だったり、その人がちゃんと年をとっていきように、描かれていたり、なかなか飽きさせません。この漫画、何気なく借りましたが、これがえらいことになりまして、まあ時間があるから良いのですが、実は「島耕作」シリーズ長い！！

まずは、学生 島耕作 全6巻 学生島耕作 就活編 全3巻

ヤング 島耕作 全4巻 ヤング 島耕作 主任編 全4巻

係長 島耕作 全4巻 課長 島耕作 全17巻

部長 島耕作 全13巻 取締役 島耕作 全8巻

常務 島耕作 全6巻 専務 島耕作 全5巻

社長 島耕作 全16巻 会長 島耕作 全13巻

全99巻です。やっと、先週読み終わりました。これで完了と思いましたが、おっとどっこい、現在「相談役 島耕作」がコミックモーニングで連載中で、島耕作も70歳台になりましたが、相変わらず元気に働いています。漫画の主人公も、はつらつと働いているわけですから、皆さんも70才台くらいでは、もりもりと働かなくてはなりません。夏バテに負けずコロナに負けず、頑張りましょう。

## ■幹事報告

- ①演台にアクリルパーテーションを設置
- ②熊本・福岡豪雨災害義援金の礼状を紹介
- ③クラブ計画書の配布
- ④丸亀キャスルロードの紹介

## ■理事会報告

- ①9/3の例会プログラム変更について
- ②観月会について

## ■例会事業;会員卓話;尾崎会員・陶國会員

尾崎浩太郎会員:私のアメ車遍歴ーアメリカンヴィンテージの世界ーもともとMade in U.S.Aが大好きで、中学の頃から昔は土器にあった“ビッグアメリカンショップ”や商店街の中の“YOROZUYA貿易”に入り浸って古着の勉強や古着の収集を大学卒業までしてました。中でも今でも気に入って履いてるのがあって、1970年代の31inchの”裾カットしていない”ジーンズがあります。



次にトレーナーでは、こだわりがあって、ChampionのReverse Weaveというシリーズで1990年代までのアメリカ製のを数十着買ってます(2000年以降はメキシコ製)。30歳を前に丸亀に戻って、ビッグアメリカンショップに行く際に“日本車で行くのはいかがなものか？やっぱアメ車じゃなきゃだめだろう”って思うようになって、それからアメ車の生活に入ってます。今回紹介するのは私の通算3台目アメ車の1969年式シボレー・カマロSS(V8、5000cc)です。アメリカの中ではコンパクトカーの部類です。故障は正直大変で、電源喪失で止まったこともあります、皆さんに温かく助けていただきました。

次に乗り替えたのが1979年式のポンティアック・ファイアバード・トランザム6600cc、185馬力です。1975年生まれですが、小さいころ両親が買ってくるミニカーが大体トランザムで、最初に意識したアメ車でした。外装が派手でボンネットにファイアバードのエンブレムがあります。6600cc、185馬力でしたが、運転しててあまり面白くないなと思ってた時、知り合いの紹介で1969年式ダッジダートGT(7000cc、400馬力程)に替えました。この車は調子がよくって、難点はブレーキがきかないくらいですが、両足ブレーキで対応してます。またフロントよりリアが長く駐車場には気を使います。

現在、色んなところにツーリングに行ってます。東京や大阪からも集まってきて数十台で集まって阿蘇に行ったりしてます。また神戸のモーニングクルーズってのが2か月に1回あってお邪魔したり、また大歩危のWESTWESTって休憩所(オーナーがアメ車好きです)にツーリング行くと展示スペースとして駐車場を確保してくれます。また年1回くらい坂出で集まってBBQをしたりしてます。今は技術的に昔の車だからとそこまで苦労して乗る車ではないですので、ぜひ興味のある方は買っていてロータリークラブのアメ車同好会を作りたいと思っております。よろしく願い致します。

#### 陶國栄帰会員：趣味の話ー釣り遍歴ー

小学生の時に父の影響で中津の海や金倉川で釣りを始めました。当時“釣りキチ三平”というマンガがあり、特に大型の魚を釣る姿が描かれていて憧れてました。外来魚のライギョやブラックバスがルアーで釣れるということを知り、金倉川や近所の野池でルアーを投げまくってました。小学生にとってルアーは高価で、ルアーが引っかけた時は、泳いで取りに行っていたので釣り仲間から“スイマー”とあだ名を付けられバカにされてました。中学生になって満濃池がブラックバス釣りの聖地ということで自転車で通い、50cmオーバーを釣ることができました。高校生の時はバレーボールに忙しくて釣りには行けず、また専門学校時代は勉強、お酒、ギャンブルなど色々忙しく釣りから離れていました。25歳の時に釣り仲間から綾川で88cm、90cmのスズキが釣れたというメールが来て、一緒に連れていかれ、その時に友人に90cmのスズキを目の前で釣られて衝撃を受けました。そこからまた釣りを始めました。年間200日以上スズキを釣りに出かけ、最高91cmを釣りました。28歳頃から松山沖でジギングでハマチが釣れると聞きつけ、松山沖に通いました。ブリやハマチが釣れるものの飽きてきました。30歳頃から足摺沖でカンパチが釣れると聞き、それからは現在まで高知沖に月1回は通っています。釣れる魚としてはシイラ(万力といわれるくらい引きが強い)、キハダマグロや、サメ、マダイ、沖ザワラ、イシナギ(大きいもので20~30kg)、カンパチ(50kgくらいの大物がいます)、アラ(高級魚で美味)、カツオ(明神丸などカツオ船の横で釣ったりしてます)釣り船からは太平洋の夜明けや、イルカやクジラの姿もよく見えます。自然の中で釣りをすると普段の仕事を忘れることができます。また興味があったら私のほうに一声かけてくれたらと思います。

